

# 令和6年度小水力発電事業民間活力導入効果等調査業務 仕様書

## 1. 適用範囲

本仕様書は、設楽町が業務委託により実施する「令和6年度小水力発電事業民間活力導入効果等調査業務」に適用する。

## 2. 業務の目的

本業務の発注者である設楽町は、国土交通省が建設を進める設楽ダムの放流水を利用して小水力発電を行い、電力事業による地域振興を計画している。

本業務は、設楽町が行う小水力発電事業の進め方を検討するとともに、効率的な施設整備と事業運営に向けて、PPP/PFIの事業手法について検討するものである。

## 3. 施設概要

(1) 名称：(仮称) 設楽ダム小水力発電所

(2) 所在地：北設楽郡設楽町（豊川水系豊川）

(3) 計画施設：従属発電（設楽ダム利水放流水利用）

最大使用水量 2.7 m<sup>3</sup>/s

基準有効落差 89.3 m

発電機最大出力 1,983 kW

年間発電電力量 12,896 MWh

(4) 事業スケジュール：特ダム法、河川法手続き等 2024年度  
(設楽町が実施)

PPP/PFI 事業開始 2026年度

整備期間 2027～2033年度

発電導水管埋設 2027年度

発電所本体建設 2030～2033年度

運転開始 2034年度

運営期間 2034～2054年度

(運転開始から20年間)

PPP/PFI 事業終了 2054年度

(事業継続の可能性有り)

\* 上記スケジュールは、現時点での想定である。

#### 4. 受託者の義務

受託者は、本業務を遂行するにあたって、発注者の意図及び目的を十分に理解したうえで、経験豊富かつ業務内容に精通した業務担当責任者を定めるとともに、適正な人員を配置しなければならない。

また、業務実施方法等を定めた業務計画書を提出し、業務計画書に沿って正確丁寧な業務を遂行し、成果品を納入しなければならない。

#### 5. 打合せ議事録

発注者と受託者の協議内容については、受託者側で要点筆記等により打合せ議事録を作成するものとする。

#### 6. 貸与資料

本業務を遂行するにあたって必要となる以下の資料を貸与する。

その他貸与が必要な資料については、発注者との協議によるものとする。

なお、受注者は、資料を貸与された際に借用書を監督員に提出し、業務完了後は遅滞なく返却するものとする。

- (1) 令和5年度小水力発電事業基本設計業務委託 報告書

#### 7. 業務内容

- (1) 事業計画の整理

施設計画や業務内容、事業スケジュール等の事業計画を整理する。

- (2) 法制度の整理

関係法令や諸規制との関係を整理する。

- (3) 補助制度の整理

補助金や交付金、公的融資、税制優遇等の公的支援について、現在想定されているもの及び適用可能と考えられるものを整理する。

- (4) PPP/PFI 事業手法導入範囲の整理

本施設の運営等について、設計・建設・維持管理・運営の各段階において必要となる業務項目と業務内容を整理し、それらの業務のうちPPP/PFIの事業の対象として民間事業者に委ねる業務範囲について、民間のリスク管理の可能性等の視点を踏まえ、詳細に検討する。

(5) 事業スキーム等の検討

事業スキームや事業方式（BT0(Build Transfer Operate)やコンセッション方式等）について、各々の概要や特徴等を整理し、設楽町及び民間事業者の役割を明確にしつつ、設楽町の意向反映と設楽町への収入還元との関係を踏まえて比較検討する。

(6) リスク分担等の検討

リスクを洗い出したうえで、設楽町と民間事業者のリスク分担や、リスクの定量化を検討する。

(7) VFM(Value For Money)の算定

PSC(Public Sector Comparator)や比較検討事業スキームごとのLCC(Life Cycle Cost)を算定し、VFMの評価を行う。

(8) 民間事業者の参入意向等の把握

民間事業者の採算性を確認するとともに、民間事業者の参入意欲や参入条件、事業内容に対する意見をヒアリングやアンケート等によって把握するとともに、PPP/PFIを実施した際の事業費算定に参考となる情報の収集も行う。

(9) 課題の整理

業務要求水準、モニタリング、支払メカニズムを一体的に検討し、基本的な枠組みを構築するとともに、PPP/PFIを導入する場合の課題を整理する。

(10) PPP/PFI 導入可能性の評価

比較検討事業スキームごとに、課題や留意事項、メリット・デメリット等を整理した定性的側面及びVFMの検証による定量的側面から、PPP/PFI導入の効果等を評価する。

なお、PPP/PFIの導入が妥当な場合には、円滑かつ迅速早期に次の段階へ移行できるよう、今後のスケジュール等必要な事項を整理する。

## 8. 成果品

成果品は以下のとおりとする。

ア 報告書（A4版、チューブファイル等綴り）	2部
イ 報告書概要版（報告書を要約したもの）	2部
ウ 電磁的記録媒体（CD-ROM等）	2部